

『浦添市内小学校への交通環境学習普及へ向けた取り組みについて』

【浦添市都市建設部都市計画課】

浦添市では、行政と教育機関が連携・協力し、モビリティ・マネジメント教育（以下、「交通環境学習」という。）に取り組んでまいりました。これまで市内小学校において、パワーポイントを活用した児童向けの交通環境学習やバスの乗り方教室、交通すごろく等の体験授業等を実施してきました。

交通環境学習を実施することで児童の交通環境に対する意識を変化させることができましたが、一方で実施には人的支援が必要であることや、アナログ交通すごろくでは、教員の負担が大きいこと等の理由により、年度ごとに市内の小学校 12 校のうち 1 校しか実施できないという課題がありました。

浦添市では、課題を解消するために、交通エコロジー・モビリティ財団からの支援を活用し I C T を活用した交通環境学習教材の作成に取り組んでいます。

この取り組みにより、児童達の学習意欲および理解度の向上や教員の負担・人的支援の軽減等を図り、今後、各小学校の授業カリキュラムとして組込み、持続可能な交通環境学習へ繋げることを目標としています。

昨年実施した交通すごろくの体験授業では、手動で行っていた交通すごろくをタブレット等の I C T 端末を用いることで、これまで人が計算していた進めるコマ数の計算や C O 2 排出量の計算等をシステム側で計算することが可能となり、ゲーム終了後はシステム側で集計しデータを電子黒板に表示し、すぐに結果に対しての振返りを行うことができました。

また、ゲーム中はタブレット上にリアルタイムで表示される C O 2 排出量を見ながら移動手段を選択するなど、児童が考えながらゲームを行っている様子も見られました。

現時点では交通すごろくの一部を手動で行うなど、完全な I C T 化はされておりませんが、市内の小学校全てにおいて I C T 端末が整備されていくことをふまえ、毎年交通環境学習の実施が可能となる仕組みづくりを目指していきたいと考えております。